

各地域の町内会活動

町内会や連合町内会では、各地域の特色を出しながら、防犯防災や環境美化、住民同士の交流、健康づくりなど多様な活動を行っていますので、その活動内容のいくつかをご紹介します。

町内の環境美化活動



曙地区第8町内会（笹川信雄会長）では、身近な地域の自然環境を守ろうと、鴨々川（第一中洲橋周辺）の清掃活動に取り組んでいます。

この取り組みは、環境美化活動の一つとして昭和58年から毎年実施しているものです。

安全・安心の防災活動



宮の森大倉山連合町内会（府録弘幸会長）では、8月26日（日）に「宮の森大倉山防災フェスティバル」を開催しました。

今回は、がけ崩れによる住宅の倒壊や河川のはんらんによる道路、住宅への冠水が発生したことを想定しての実践さながらの訓練です。

地域住民は、避難訓練、人命救助訓練、水防訓練などに参加して、日ごろから災害に備えるための防災意識の向上に努めています。

町内会の大運動会



幌西地区連合町内会（細川照市会長）では、地域の住民同士の親睦と交流を目的として、幌西成年会、幌西小の子どもを守る会、青少年育成委員会、社会福祉協議会などの共催や協力を得て「幌西地区大運動会」を毎年開催しています。

昨年の開催が29回目となります。

パートナーシップ除雪



町内会では、冬期間の生活環境の向上のため、札幌市の除雪パートナーシップ制度を活用して、除雪業者、札幌市、町内会とがそれぞれの役割を分担して、地域の生活道路に積もった雪の運搬排雪を行っています。

また、排雪作業の障害とならないよう、違法駐車への指導やごみステーションの整理なども行っています。

今回紹介した町内会の活動事例以外にも各地域ではさまざまな活動を行っています。身近な活動から参加してみませんか。



問い合わせ先

中央区地域振興課（南3西11） ☎（231）2400

中央区の各まちづくりセンター（区民のページ4ページ参照）